



高 埴工進路だより

2020.2.21 (第8号)[年度最終号]

[3年生の皆さん]・・・晴れやかに<新たな進路>に向かって！

“心の幹”を鍛えよう！

いよいよ、晴れの卒業。それぞれの進路での大きな活躍を期待しています。
誰しも時には失敗したり、落ち込んだりすることがあります。しかし、自分の弱い
気持ちにけっして負けないように。なかなか思うようにいかないことがあっても
“心の幹”がしっかりしていれば、必ず乗り越えることができます。
『けっしてぶれることなく、いつも笑顔で、自分本来の姿を大切に！』



乗り越えた先にまた“夢”が広がる！

実社会で仕事をする際、“答”は必ずしもひとつとは限りません。それだけ<失敗>と思わ
れる頻度も高くなります。何事にも真正面から向かい合い、『試行錯誤』を繰り返しながら、
粘り強く取り組む姿勢が求められます。

『夢を掲げ、乗り越える！』失敗はエネルギーのかたまり。困難こそが成長の糧。乗り越えた
先に新たな楽しみがあり、夢が膨らむ。苦労を糧に、大きく成長しよう！

[2年生の皆さん]

進路についての検討開始！

自分が進むべき方向性をしっかりと見定め、希望職種そして具体的な企業についての研究に
取り組みましょう。

<自分の能力>を将来、どのように仕事に生かし、‘戦力’として活躍
したいと思っているのか、改めて、自分を見つめ直してみましょう。

就職希望者

9月初旬の<願書の受付開始>、9月中旬の<採用試験一斉解禁>に向けて、
計画性をもってしっかりと活動する必要があります。

専門学校への進学

「“実践的な技能”を身に付けて社会に出たい」・「仕事に役立つ“資格”を取りたい」・
「好きな“専門分野”を集中的に勉強したい」と考える高校生が専門学校で学ぶ道を選択
しています。

* **要注意!** テレビで CM を流している学校 = 「良い学校」とは限りません。

★スタート・ライン

- ・自分は将来どんな仕事に就きたいのか。
- ・そのために必要な資格は何か。

★着目ポイント…『実績』

- ・卒業生の取得資格
- ・就職先

((県南地元
企業説明会))
2月26日(水)
午前中・棚倉



“Seeing is believing.” 『百聞は一見に如かず』

オープンキャンパス(学校見学)の機会を活用し、直接、自分の目で学校の内外を見てみましょう！

((認可校と無認可校の主な違い))

認可校

○都道府県知事の認可を受けた学校。「専門学校」の名称を使うことができるのは正式に認可を受けた学校だけです。ただし、認可校であっても、○○学院、○○カレッジなど名称は様々です。

- ①卒業と同時に資格取得 … 栄養士、調理師、保育士、等
- ②卒業と同時に国家試験受験資格を取得
… 自動車整備士、看護師、理学・作業療法士、理容師、美容師、等
- ③卒業後、一定の実務経験を積み、所定の国家試験に合格してはじめて資格を取得
… 測量士、第2種電気主任技術者、等



無認可校

○学校教育法で定められた「学校」ではない教育施設。教育内容に特に規制がなく、ユニークな教育が可能。修了しても、正式な学歴とはみなされません。また、学割は発行されず、日本学生支援機構の奨学金の対象になりません。

“先輩”としてのしっかりとした心構えを！

2年生は4月からいよいよ最上級生・・・後輩に対して堂々と胸を張ることができる毎日を送りましょう。

クラスのみなどと歩調を合わせ、仲良くやっていくことはもちろん大事なことです。しかし、それに加えて、自分自身を育て、変えて行くという姿勢が必要です。日々、しっかりと学ぶことが変わって行く力を身に付けることになり、自分を成長させることになります。



＜＜重要視点＞＞ ＜**努力する**＞のは常に自分ですが、＜**評価をする**＞のは自分ではないということ。

***「評価に値する」だけの＜努力の継続＞が肝心！**

これまで以上に“意欲的な”学校生活を！

[1年生の皆さん]

皆さんは＜自分が就きたい職業＞について、＜いくつかの方向性＞を見い出すことができますか。

＜進路実現＞のための＜基本＞は何でしょうか。

それは日々、自分の能力を磨くこと。しかし、そのための‘即効性の特効薬’などというものはありません。勉強・部活動・資格取得において、ひたすら努力を重ねることが大事です。“日々の授業”を大切に、＜基礎力（国・数・英）の強化＞に励みましょう！



ストレス・コントロール

仕事が一人だけで完結することはありません。“チーム”の一員として、協調して業務をこなすことができる人材であることが大切です。

“チーム”で業務を担当する際は、**ストレス**を上手に**コントロール**する必要があります。

例えば、苦手な人に対して「嫌だ、嫌だ」と逃げてばかりいてもストレスは増すばかりです。決して逃げることなく、その「発生源」を見極め、上手に対応する要領を身に付けましょう。



新年度に向けて

間もなく『春休み』。この大きな節目に**生活態度**についての‘自己点検’を！！
直すべき所はきっちりと直し、気持ちも新たに、新年度に備えましょう。

